

手術を受けられる患者様へ

安心・安全な手術のために

このパンフレットは
入院時に必ず持って
きてください。



様

手術までの予定

中止薬 薬の名前・中止日	① → 月 日 から内服中止
	② → 月 日 から内服中止
入院日	_____ 月 _____ 日 () _____ 時 _____ 分 以下の(○)の場所にお越しください。 () 入院受付 → 場所は「入院のご案内」P2 をご参照ください () _____ 科外来 () _____ 病棟
主治医説明	_____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 ご家族の同席は (☐ 必要 / ☐ 不要) です。
手術日	_____ 月 _____ 日 手術中のご家族待機: ☐ 院内 / ☐ 電話 ※ご家族の待機が院内の場合は手術後に直接主治医から説明があります。 電話の場合は必ず連絡が取れる電話番号を看護師にお伝えください。

※ 外来で麻酔の説明を受けていない方は入院後に説明があります。

麻酔説明 _____ 月 _____ 日 午後3時～5時

ご家族の同席は (☐ 必要 / ☐ 不要) です。

お部屋希望 (1日の税込個室料)

本館

- () 特別室 (13,200 円)
- () 個室 A (8,800 円)
- () 個室 B (6,600 円)
- () 個室 C (5,500 円)
- () 2 人部屋 (2,200 円)
- () 4 人部屋 (無料)

南館

- () 特別室 (16,500 円)
- () 個室 A (11,000 円)
- () 個室 B (8,800 円)
- () 個室 C (7,700 円)
- () 4 人部屋 (無料)

① : 第1希望 ② : 第2希望 ③ : 第3希望

もくじ

手術に必要な持ち物	-----	P.3
手術前の生活・準備	-----	P.4
麻酔について	-----	P.6
手術後について	-----	P.8
手術・麻酔に関するお知らせ	-----	P.10
手術前日・当日チェックリスト	-----	P.11
手術前の体調不良時の連絡先	-----	裏表紙

手術に必要な持ち物

○印のついた必要品を手術日までにご用意ください。当院売店でも販売しております。

CS セット以外の物品には油性マジックで氏名を記入してください。

追加で必要になったものは病院のものを使用し、後日新しいものを返品していただきます。

必要品	品物：数	当院売店での価格 / 注意点
	バスタオル：1 枚 ※ CS セットのバスタオルで可	体の下に敷いて使用するため、 小さいサイズでないものをご用意ください。
	ティッシュペーパー：1 箱	使用途中のもので可
	紙オムツ（テープタイプ）：1 枚	S・M ：167 円/枚 L - LL ：193 円/枚

※ 髪が長い方は金属が付いていない髪ゴムを持参してください。

手術前の生活・準備



禁煙

タバコを吸っていると咳や痰が増え、肺炎だけでなく心筋梗塞や傷口の感染症などの合併症が起こる危険性も高くなります。手術が決まったらできるだけ早く禁煙してください（電子タバコを含む）。
入院中は禁煙の継続が必要です。



口腔内の清潔・歯科治療

口の中を清潔にすることで肺炎などの合併症が減少します。しっかり歯磨きをして、「グラグラしている歯はないか」「入れ歯はあっているか」などかかりつけの歯医者さんともご相談ください。



予防接種（ワクチン）

手術や麻酔によってワクチンの副反応やワクチンの効果減弱がおこる可能性があるため、手術前 1 か月以内に接種した場合や接種予定がある場合は必ずお知らせください。



体調管理・感染症予防

暴飲暴食を避け、飲酒は控えてください。風邪などをひかないよう手洗い・うがいを行い人混みへの外出を避けるよう心がけてください。



内服薬・サプリメント

手術や麻酔に影響があり事前に中止が必要な場合があるため、使用中の薬は全てお知らせください。術前確認から入院までの期間に内服薬の変更・追加があった場合は外来までご連絡下さい。

入院時は薬とお薬手帳（もしくは説明用紙）をお持ちください。

- 医師から中止の指示があった場合は、「手術までの予定」に記載されている薬名と中止日を確認して確実に中止してください。
- サプリメント・健康食品は手術まで中止してください。

身体の清潔

- ひげ 剃ってきてください。
- 手足のつまめ 短く切ってきてください。
- 入浴・洗髪 手術前に体を清潔にし、皮膚を整えることで手術後の傷の感染症が少なくなります。
制限が無い場合は、入浴・洗髪を行ってきてください。
(入院後はシャワー浴になります。)
また皮膚の乾燥が強い場合は保湿剤などを使用してください。



装飾品・補聴器など

● 入れ歯・補聴器

入院時は持参してください。
手術当日の装着に関しては入院後にご案内します。



● アクセサリー・時計

金属製の物は手術中に使用する電気メスの影響でやけどをする場合があります。そのため、手術室入室時は必ず外していただきます。
結婚指輪などが外せなくなっている場合は入院までにお店などにご相談ください。手術直前に外せない場合は安全のために指輪を切らせていただく場合があります。



● 眼鏡・コンタクトレンズ・ウィッグ（カツラ）

手術室入室時にはコンタクトレンズは必ず外していただきます。
眼鏡をお持ちの場合は入院時にケースも一緒に持参して下さい。
眼鏡・ウィッグ・医療用帽子などを装着したままでの入室を希望される場合は看護師・麻酔科医師にご相談ください。



● マニキュア・ジェルネイル・つけ爪

指の先にモニターをつけるため、入院までに除去してください。



● つけまつげ・まつげエクステンション

異物として目を傷つけてしまう危険性があるため手術室入室時はつけまつげは外していただきます。
まつげエクステンションは手術中に目を保護するためのテープによって取れてしまう可能性がありますので、できる限り付けてこないようにしてください。



麻酔について

術前外来では以下の中から今回の手術に適応となる麻酔法に関して説明いたします。

手術室入室

病棟看護師と一緒に本館 3 階にある手術室に向かいます。

手術室の入り口でスタッフとともに名前や手術の部位などの確認を行います。

手術室に入り、ベッドに寝て心電図や血圧計、酸素測定用クリップなどのモニターをつけた後点滴を行います。（すでに点滴をしている場合は漏れないかなどのチェックを行います）

両足に血栓予防のマッサージ器具を巻きます。（手術によってはつけないこともあります）

麻酔の種類

全身麻酔

意識がなくなる麻酔

眠っている間に手術を行います。麻酔がかかっている間は呼吸をするための管を入れて人工呼吸を行います。

【麻酔の流れ】

酸素のマスクをつけた後、点滴から麻酔の薬が入り眠ります。

（薬が入るときに少し痛みを感じる場合があります）

眠ったあとに呼吸をするための管を気管に入れ、人工呼吸を行います。

手術終了後に全身麻酔から醒めていただき、回復室に移動します。

回復室では看護師がそばについて経過を観察いたします。（通常 1 時間程度）



脊髄くも膜下麻酔

下半身の麻酔

脊髄のある場所（くも膜下腔）に局所麻酔薬を入れて下半身の感覚を麻痺させる麻酔法です。

麻酔・手術ともに目が覚めている状態で行います。

【麻酔の流れ】

ベッドの上で横向きになり背中を丸くします。腰に皮膚の局所麻酔をした後、麻酔薬注入のための針を穿刺します。局所麻酔薬が入ると足の方から麻酔がかかり痺れてきます。

冷たいものを当てて麻酔が効いている範囲を確認したのち、手術を開始します。

（麻酔効果が不十分な場合はやり直し、もしくは全身麻酔に変更する場合があります。）

手術終了後は麻酔が効いたままで病棟に戻ります。

麻酔薬注入から時間がたっていない場合などは回復室で休む場合があります。

通常、数時間程度で徐々に麻酔が切れてきます。

硬膜外麻酔

おなかの傷の周囲の感覚を減らし痛みを軽くする麻酔

ほとんどの場合全身麻酔と併用し、とくに腹部手術後の傷の痛みを軽減します。

（通常 2－3 日程度）背中の中（脊髄）を取り巻く硬膜外腔という場所に
細い管を入れて局所麻酔薬を持続的に注入します。

この細い管は、目が覚めている状態で挿入します。

【麻酔の流れ】

ベッドの上で横向きになり背中を丸くします。

背中に皮膚の局所麻酔をしたあと針を硬膜外腔に向けて穿刺し、管を挿入します。

管が正しい場所に入っていることを確認したのちに全身麻酔をかけて眠ります。



末梢神経ブロック

手術をする部位の痛みを軽くする麻酔

多くの場合全身麻酔と併用し、手術部位の痛みの緩和または手術中の有害事象を予防するために行います。細い管を挿入して数日間持続的に麻酔する場合があります。

【麻酔の流れ】

ブロック注射は麻酔する部位によって目が覚めている状態もしくは眠った後に行います。

安全性と効果を高めるために超音波や神経刺激装置などを使用して行います。

● 上肢のブロック：腕神経叢ブロック

● 下肢のブロック：大腿神経ブロック、坐骨神経ブロック

腸骨筋膜下ブロック 閉鎖神経ブロック など

● 体幹のブロック：腹横筋膜面ブロック、腹直筋鞘ブロック など

どのブロックを行うかは麻酔科医師より説明いたします。



麻酔説明と実際に行う麻酔

術前外来では手術室看護師と麻酔科医が問診・説明を行います。

ご不明な点やご不安なことがありましたら遠慮なくお知らせください。

実際に行う麻酔法は、手術内容やお体の状態の変化にともない変更となる場合があります。

その場合は担当麻酔科医からあらためてお伝えいたします。

手術後について

術後回復室（リカバリー室）

全身麻酔から覚めた後は回復室に移動し、1時間程度経過観察を行います。

回復室では手術室看護師が側について、麻酔からの覚め具合や血圧などお体の状態を観察します。

痛みや吐き気がある場合は、鎮痛薬や吐き気止めの投与を行います。

お体の状態が安定したのちにベッドのまま入院病棟に帰ります。



手術後の痛み

手術後の痛みは一般的に手術直後から半日程度が一番強く感じます。痛み止めの調整を行うことでできるだけ楽にお過ごしいただけるよう努めますので、痛みがある場合は遠慮なくお知らせください。痛みの程度は以下のように数値でお聞きます。

数値評価

痛みの程度を0 - 10の数値で表現

痛みがない

これ以上の痛みがないほど痛い

0 - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7 - 8 - 9 - 10

「5」が追加の痛み止めが必要かどうかの目安です。

手術後はできるだけ早く動きましょう

お体を動かすことで合併症を予防し、回復を早くする効果があります。

主治医から離床の許可が出たら積極的に動いてください。

【 血栓症予防 】

手術の影響やお体を動かさないことで血栓症が起きやすくなります。

血栓症の予防には寝返りなどを含めてお体を動かすことが大切です。

できる範囲で肘や膝の曲げ伸ばしや足首を動かすよう心がけてください。

【 肺炎予防 】

お体を動かすことで痰が出やすくなり、肺炎を予防する効果があります。



自己調節鎮痛法：

PCA（Patient Controlled Analgesia）

※全ての手術で使用するものではありません。

痛い時にご自分でボタンを押して薬剤を追加で投与できる痛み止めです。

お体への負担が大きい手術の術後や痛みの強い時に使用します。

対象の患者さんには手術後、担当麻酔科医・看護師より使い方を説明いたします。

ボタンを押すと点滴や背中などに入った管から痛み止めの薬が注入されます。

痛みを感じた時にいつでもご自分の判断で痛み止めを追加できます。

安全のために薬の入る最大量を設定しています。痛いときは我慢せずにボタンを押してください。

効き目が不十分なときは他の痛み止めを併用できます。

《 点滴・大腿神経ブロックなど 》



《 硬膜外麻酔 》



【 ボタンを押すタイミング 】

- 痛みが強くなってきたとき
- 痛みが強くなると予想されるとき（リハビリ前など）
- ゆっくり休みたいとき（就寝前など）

【 副作用 】

副作用を感じた場合はお知らせください。

- 点滴（点滴の途中にチューブを接続）：吐き気・眠気・痒み など
- 硬膜外麻酔（背中に入ったチューブ）：足の痺れ・排尿障害 など
- 大腿神経ブロック（足の付け根に入ったチューブ）：足に力が入らない など

手術・麻酔に関するお知らせ

● 手術日時： 月 日 (時 分)

※当日の状況によって入室時刻が変更される可能性があります。

● 予定麻酔法

- () 全身麻酔 () 硬膜外麻酔
() 脊髄くも膜下麻酔 () 腕神経叢ブロック
() 大腿神経ブロック
() 坐骨神経ブロック
() 腹横筋膜面ブロック
() その他のブロック ()

● 絶飲食のお願い

- 絶食：手術前日 夜12時 から食べ物を中止してください。
- 絶飲食：手術前日 / 当日 時 から飲み物も中止してください。

● 薬に関するお願い

- () 手術当日朝7時に以下の薬を少量の水で内服してください。
- ☐ 薬は看護師が直接お持ちします。
- ☐ お薬ケースに準備します。

※ 確認のために薬の^{から}入っていた殻は残しておいてください。

● その他のお願い

- ()入れ歯：手術室に(☐ つけたまま / ☐ 外して)きてください。
※入れ歯接着剤は使用しないでください。

手術前日・当日チェックリスト

() の項目については必要な方にご案内します。

● 手術前日

☐ 爪が伸びすぎていないかどうか確認します。

() お臍^{へそ}のそうじを行います。

() 手術する部位の毛を剃ります。



● 手術当日

☐ 歯磨き・入れ歯の洗浄をしてください。

☐ 髭を剃ってください。

☐ 化粧（保湿ローション含む）はしないでください。

☐ 長い髪は金属に付いていないヘアゴムで横に結んでください。

() シャワーを浴びてください。 _____ 時～

☐ 貴金属・腕時計・コンタクト・ヘアピンなどは外してください。

☐ 貴重品は貴重品 BOX に入れて鍵をかけてください。

☐ 手術着に着替えてください。

※ 手術着の下はパンツのみつけて下さい。

☐ 不織布^{ふしよくふ}マスクをつけてください。

☐ 手術室に行く前にトイレを済ませてください。

※ 看護師が時間を確認します。

() 血栓予防の弾性ストッキングを履いてください。

() 病室で点滴を始めます。



体調が悪くなった場合は
手術を予定している科の外来に
ご連絡ください。

岡山赤十字病院
☎ 086-222-8811（代表）